

会 員 通 信



2019.2 Vol.30

- アンケート結果 1
- 第23回 研修会報告 2・3
- 漢字教育サポーター研修会報告 3
- ネットワーク会員の地域別分布状況 4
- 漢字研究の扉(コラム) 5
- 漢字教育サポーターリレーコラム 6
- 書籍紹介 6
- 漢字教育サポーター育成事業 7
- 投稿募集 8

ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは、「漢字の知識が役に立った場面」です。
準1級や1級の知識を持っていて良かったこと、役に立ったと感じたことについて伺いました。(回答者:11名)

仕 事 で 役 に 立 っ た

- ・漢字指導の際、漢字の覚え方、言葉の使い分けを自信を持って説明することができた。
- ・仕事柄、様々な申請書類(手書き、ワープロ)をチェックする。特に姓名の確認は重要で、独特な文字があった際、漢検学習で蓄積した知識が大変役に立っている。



学 校 で 役 に 立 っ た



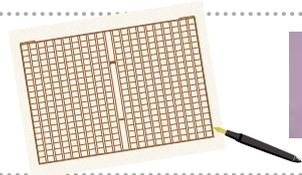
- ・ちょっと難しい熟語でも準1級で覚えた表外の読みから意味を推測することができるので、学校の国語の授業で古い作品を扱った時にすらすら読めた。
- ・現代文などの試験における漢字問題は、大いに自信が持てるようになった。

日 常 で 役 に 立 っ た

- ・本やニュース記事などにたまに出てくる難読漢字が読めるようになった。
- ・本やゲームなどでキャラクターのセリフテロップの誤字に気づきやすくなった。
- ・クイズ番組で難しい漢字が出てきても、ある程度答えられる。
- ・自宅の掛け軸が辞書なしで読めるようになった。



文 章 作 成 に 役 に 立 っ た



- ・文章を綺麗にわかりやすく作成するのが、格段に容易たやすくなった。
- ・報告書を作成する際、より短く簡潔に作成できるようになった。

他 分野の理解が進んだ

- ・漢検で得た漢字や熟語の知識により、日本史関係の用語の理解も容易になった。譜代(譜は「つづく」と読む。)、棄捐令(棄も捐も「すてる」と読む。)、勘解由使(勘は「調べる」の意。解由は事務引き継ぎの文書。)など。
- ・一番役に立ったのは、近代文学作品を読んで理解して楽しめるようになったこと。



学 習 姿 勢 が 身 に つ い た



- ・学習や研究に対するモチベーションが続くようになって物事を深く学ぼうとする姿勢が身についた。
- ・漢字検定や漢字学講座への取り組みで身につけた知識や自分なりに編み出した勉強の仕方は、以後にチャレンジした日本語検定やことわざ検定でも役立ち、スムーズに1級に合格することができた。

〈編集部よりコメント〉

語彙力が上がったことで文章力まで向上した方もいれば、身についた学習姿勢が役に立った人もいます。知識が増えたことは、仕事や学業など多くの場面で役に立っているようですね。これからも様々な場面で、漢検受験で得た力を活用していただければ幸いです。

次回のアンケートテーマは「私の愛読書について」です。回答方法は8ページをご覧ください!

研修会報告

第23回 会員向け研修会を開催いたしました。

2018年11月18日(日)に漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)にて、第23回会員向け研修会を開催し、28名の方にご参加いただきました。ご講演内容を簡単にご紹介いたします。

日本の古辞書に見える漢字と訓み —『色葉字類抄』「名字」の部を中心に—

京都府立大学 文学部講師 藤本 灯 先生



名乗り字とは?

現代の一般的な漢和辞典や赤ちゃんの名前辞典には、「名乗り」という欄があり、一般的に名前で使用される読み方が記されている。また、日本人の名前に使われてきた漢字を様々な資料から集めて並べた、『名乗辞典』も存在する。

そもそも名乗りとは何か。平家物語の巻11「讃岐国屋島合戦事」には、源平の合戦に際して源氏の軍兵たちが次々と名乗る場面がある。そのうちの一人、「奥州ノ佐藤三郎兵衛次信」の名前にあたる部分を調べるために名乗りを分解してみる。すると、奥州(所領地などの名前)+佐藤(氏)+三郎(仮名)+兵衛(官職名)+次信(実名)となる。普段呼ばれる名前を仮名(ここでは生まれた順番を表す)と言い、最後の実名が本名のことである。

中国の風習では、実名は諱(忌み名)と呼ばれ、隠すべきものとされてきたが、日本では誇らしいものとして自ら名乗る場面もあったようだ。万葉集では、男性が女性に実名を尋ねる場面がプロポーズを表していることから、実名が特別大切なものであったことがわかる。

男子の実名はふつう元服時に与えられ、義経のように、漢字二字(嘉字^{かじ}二字)で訓読みされるのが一般的である。そのうち一字は、一族に共通する「通字」(源義経の家系では、「義」や「頼」)であることが多い。この二字それぞれを名乗り字という。

実名の読み方を知る手立て

実名の当時の読み方を知るためには、まず、実名が仮名書きされている資料を調べる。例えば鎌倉期写本の無名抄『関明神』には、三十六歌仙の一人、僧正遍昭の出家前の実名が「よしみねのむねさた」(良岑宗貞)、と仮名書きで記されている。さらに江戸時代初期の『吾妻鏡』の振り仮名付き版本には、詳しく読み仮名が振ってあり、御家人の一覧が並んでいるため、このような場合は人物を同定しやすい。

しかしこれだけの資料では、不足が生じる可能性がある。まず、仮名書きの資料のみでは人物同定が難しい。また、史実上の全人物についての資料が残っている保証はない。さらに、後世の人が勝手に読み仮名を振った疑いもある。ここで、補足資料として古辞書を用いるのである。

『色葉字類抄』について

『色葉字類抄』²とは、平安時代の院政期に編纂されたイロハ引き国語辞書である。漢字を見出し語に掲げ、注記には、字音や和訓などの「よみ」を主として、音注や意味注、用例などが簡潔に示されている。伝存するイロハ引きの国語辞書として最初期のものであり、直接・間接に、後の日本の漢和字書や国語辞書に多大な影響を与えたとされる。また、天象・植物など意味・形態別に21分類されており、その最後には名字³の部がある。例えば名字の部のヨの項目を見ると、ヨシと読む漢字が吉・良・好…と続いており、その後、ヨリと読む漢字が続く。数えてみると、ヨシが30字、ヨリが23字収められている。『色葉字類抄』の名字の部には、合計746字が収録されており、そのすべてが訓読みを前提とした男性の二字名(嘉字二字)の構成字である。

また研究の結果、収められている漢字は、おおむね使用頻度が高い順に並んでいることがわかってきた。すなわち、漢字の並び順によって、名前の読み方の蓋然性の高低が判断できるのである。また、『色葉字類抄』には、ある漢字を用言として使う場合の訓を記載した「辞字」という項目もあるのだが、こちらと比べても、日記など文章でよく使う漢字と、人名漢字によく用いられる漢字は異なることがわかる。例えば同じヨシという訓でも、名字部では「吉」の字が冒頭にあったのに対して、辞字部では「善」の字が冒頭にある。

同時代の『掌中歴』^{しょうちゅうれき}という書物にも、名字を集めた部があるが、収められている漢字や数は『色葉字類抄』と少しずつ異なる。どちらが先に成立したかということも、研究上は大切なことであるが、より重要なのは、名字を集めた部が当時存在していたことと、名字部を辞字部とは別に立てる必要があったということである。

「名字」の部の意義

なぜ、イロハ引きの、名乗り字ばかりを集めた部門を作ったのか。一つの仮説として、天皇や要人の実名を敬避^{ひき}（避諱）する（同じ漢字はもちろん、同じ訓も）ため、漢字の読み方だけでなく、同訓を持つ漢字を全て知っておくことが求められたのだと考えられる。これに関する改名の例を挙げると、例えば『保元物語』では、「忠正」という人が自分より地位の高い中納言^{ただまさ}「忠雅」と同じ訓読みの漢字を避けるため、「忠貞^{ただかず}」という名に変えた、とある。

つまり「名字」を「仮名で」引けるように辞書に収録したことの意義とは、一族に共通する「通字」以外の一字を音から決める際の手引きとするほか、名乗り字の訓読みが偉い人と重複しないようにするための手引きとすることであったのではないか。

謎の多い名乗り字だが、複数の仮名書き書物と古辞書の「名字」を併せて古代の男性の実名を読み解いていくのも面白い。また漢文で記された改名のエピソードも、その二つの漢字が名乗り字で、かつ同訓であることを示している点で、有用な資料と言えそうである。

- 1) 良い字のこと。
- 2) 編者は、宮中の食事に関する職務を担当する「内膳典膳^{ないぜんてんぜん}」（従七位下）の「橘忠兼」であること以外は未詳。
- 3) 現在一般的に使われる「苗字」は、室町・南北朝時代以降に、家督が長男にのみ受け継がれる制度の中で定着した。本講義の「名字」や「名乗り字」とは別物である。

漢字教育サポーター研修会報告

- 日 時：11月18日(日) 10:00～11:30
- 会 場：漢字 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)
- 参加者：6名
- 研修会内容

「辞書を使った講座作成体験会」

最初に、学校での漢字辞典の学習内容や時期について協会より説明した後、次の条件をもとに班毎に授業案を考えていただきました。

【条件】

対象：小学校4年生以上
人数：40名ほど
時間：45分(国語の授業)
内容：漢字辞典を使った講座
講座のねらいや、準備物、タイムスケジュールを検討し、最後には、それぞれの班の特色が出た講座案が完成しました。

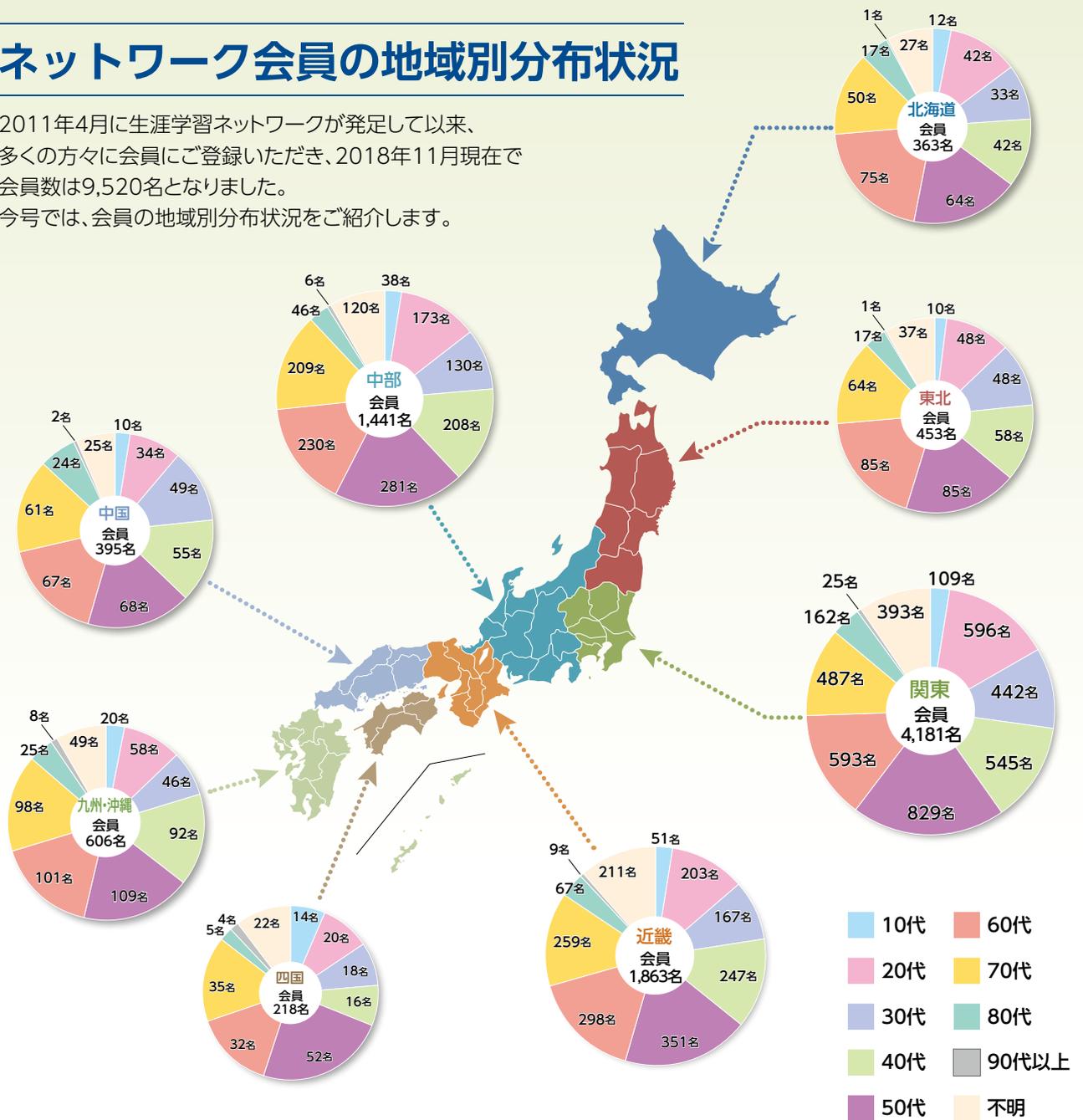
2019年度 漢検 生涯学習ネットワーク研修会の日程・開催地域が決まりました。

- 4月 7日(日) 東京都千代田区 フクラシア東京ステーション 詳細は同封のチラシにてご確認ください。
- 7月21日(日) 長野県松本市 JR松本駅周辺
- 11月17日(日) 京都府京都市 漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム)

各会場、遠方からのご参加もお待ちしています。

ネットワーク会員の地域別分布状況

2011年4月に生涯学習ネットワークが発足して以来、多くの方々に会員にご登録いただき、2018年11月現在で会員数は9,520名となりました。今号では、会員の地域別分布状況をご紹介します。



漢字クイズ 難読地名 千葉県

今回は、千葉県の地名を紹介します。以下の3つの地名は何と読むでしょうか。

- ① 鰭ヶ崎 (流山市)
- ② 鎚木 (旭市)
- ③ 櫃挾 (市原市)



解答は7ページへ

※画像はイメージです。

漢字研究の扉

このコラムでは、漢字文化研究所の研究員が「日本語や漢字の面白さ、奥深さ」を会員の皆様にお伝えします。漢字文化研究所とは、日本文化の側面から日本の漢字をつまびらかにする調査研究等を行うために、日本漢字能力検定協会内に置かれた組織です。

反切の起源と「鍾馗さん」

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 漢字文化研究所 田中 郁也

京都の家の屋根には、魔よけの神様「鍾馗さん」が置かれていることがあります(図1)。この鍾馗の起源について、次のような伝説が伝わっています¹。

病床にあった唐の玄宗皇帝は、夢に大小二匹の鬼を見た。小さな鬼は皇帝の御物を盗んで宮殿を走り回っていた。それを大きな鬼が捕え、体を引き裂き食べてしまった。皇帝がその大鬼に名前を尋ねると、自分は科挙に落第して死んだ鍾馗氏だと答え、天下の妖怪を払い除くことを誓った。夢から覚めた玄宗はたちまち病が癒えたため、画工にその絵を描かせたところ、画工は玄宗が夢で見た通りの鍾馗を描いた。

この伝説では科挙に落第した士人とされていますが、鍾馗はもともと人ではなく、悪鬼払いの儀式に用いられる木槌だったのだという説があります²。木槌の別名「終葵」の音が変わり、「鍾馗」になったというのです。

木槌が神様になっただけでも十分に面白いのですが、実はこの話、漢字音研究にも関わりがあります。「終葵」は、『説文解字』(許慎、100年)に、椎(木槌)の別名として出てきます。同じように、筆(ふで)の別名として「不律」が、狸(タヌキ)の別名として「不来」が古典文献に登場します。さて、下線を引いた二文字を速く発音してみてください。すると、それぞれ椎・筆・狸の音になる(近くなる³)ことに気づくと思います。このように、古い文献の中では、二つの

同義語が、片方は二音(二字)、もう片方はそれを縮約した一音(一字)という関係になっていることがあります⁴。

この漢字二字の音を縮約するという操作は、近代まで用いられた漢字の発音表示法「反切法」のものと大変よく似ています⁵。反切法では、求める漢字の発音を分割して二字の漢字で表し、その二字を口の中で擦り合わせるように唱えて音を復元します。反切法の普及以降1500年以上の長きにわたって、中国では発音を表示するのにこの方法を用いたので、反切は昔の中国語音を研究する際の最も基本的な資料となっています。

今回取り上げた「終葵」が「椎」に縮約される類の現象は、反切法が確立するずっと前から自然発生的に存在していたもので、反切の起源を考える上での貴重な資料として、多くの研究がなされています。



図1 鍾馗像 [写真提供:ピクスタ]

- 1 宋・沈括『夢溪筆談・補筆談』巻3「雑誌」など。
- 2 清・趙翼『陔余叢考』巻35「鍾馗」など。
- 3 日本漢字音で「終」と「椎」の子音は異なるが、非常に古い時代の中国語の発音(上古音)では近かったと思われる。清・錢大昕『十駕齋養新録』巻5「舌音類隔之說不可信」を参照。
- 4 この現象を「二合音」、縮約された字を「合音字」とも呼ぶ。
- 5 反切は主に次の点で「終葵=椎」式の縮約と異なる。「終葵=椎」式では、縮約前の二字は語であり他字に置き換えられない。一方の反切では、必要な音の条件さえ満たせば、縮約される二字は変更可能である。

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さんによる漢字や漢字活動に関するコラムを掲載します。第6回は栃木県にお住まいの鶴田久美子さんにご執筆いただきました。

子どもたちとともに

第2期漢字教育サポーター 鶴田 久美子

主婦業のかたわら、幼児から高校生までの学習に携わる仕事をして30年になります。勤めているところが漢検の準会場になっていることもあって漢字教育サポーターに志願しました。

私の受け持ちは主に幼児や低学年の子どもたちなので、漢字の成り立ちについて子どもたちが興味を持ってくれるように、いくつか教材を作ったりしています。たとえば、絵から、甲骨、金文、楷書へとどのように字形が変化していったかを示すカードや、部首とつくりになわかれて遊べるトランプなどです。

あるとき、子どもたちと、部首別に漢字集めゲームをしてみました。これは、たとえば「くさかんむり」のついている漢字を一週間でどれだけ集められるか、一番たくさん集めた人が勝ちというゲームなのですが、驚いたことに全員が数十個の単位で漢字を集めてきてくれました。保護者の方からあとで聞いたところによれば、子どもたちは、みずから漢字辞典を調べ出ただけでなく、新聞、雑誌、はてはレストランのメニューにまでも、一生懸命に「くさかんむり」の漢字を見つけようと目を通し、「草」「菜」「芝」などの字を見つけては嬉しそうに書き記していたとのことでした。

「スーパーで蒟蒻ゼリーの『蒟蒻』の字をみつけたときのあの『やったー』という顔が忘れられません。」「『楽しく学ぶ』とはこういうことなのですね。」という嬉しい声をいただきました。

学びたいと思う気持ちを大切に、これからも、子どもたちが楽しんで漢字と向き合ってくれるよう、努めていきたいと思います。



子どもたちの集めた漢字(部首の違うものも含まれています)



鶴田さんからの紹介で次回は神奈川県青木清徳さんのコラムを掲載します。お楽しみに!

書籍紹介



『甲骨文字辞典』

朋友書店 2016年 落合 淳思 著 【紹介者】京都府 田中さん

漢字の起源の研究で、説得力のある論考を発表し続けてこられた著者が、これまで発見されてきた甲骨文字1777種の字源について、体系的にとりまとめたもの。丹念に何種類もの甲骨文字を採集し、それを部首別に一貫した論理で解釈されており、その内容の濃さに圧倒される。この辞典そのものは、「各文字の字源説について個別研究者の批判はしておらず」とあるように論争の書ではないので、同著者の『甲骨文字小字典』などと併せて読むと、より、考え方がわかりやすい。

漢字教育サポーター育成事業

第8期(Web講座)受講者募集開始!

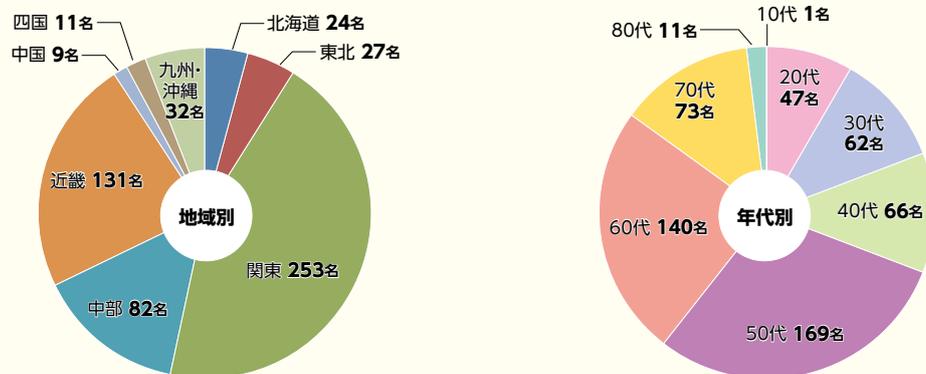
●漢字教育サポーターとは

漢字教育サポーターとは、専門的かつ体系的な漢字の知識を活かして、地域で漢字教育の支援を行う方々の事です。日本漢字能力検定協会では、学校や地域団体などから漢字に関する講座の講師(有償・無償)や教育ボランティア等の要望があった際には、漢字教育サポーターを講師としてご紹介しています。具体的な活動例は、同封の「漢字教育サポーター育成講座パンフレット」もしくは協会ホームページ* (<https://www.kanken.or.jp/kanken/supporter/>)に掲載しています。

*ホームページの活動例は随時更新しています

漢字教育サポーター地域・年代別分布状況

漢字教育サポーター登録者は全国に569名います。



*各都道府県の地域の分け方はP4 生涯学習ネットワーク会員地域別分布と同じです。
現在受講中の7期の方は数に含まれておりません。

●サポーターになるためには

約1年の受講期間内に、Web上にて立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の協力による全80回の通信講座を受講、4科目のテストに合格する必要があります。4科目・80講座の内容は同封の「講座内容パンフレット」にてご紹介しています。

●受講手続について

まずは、同封の「募集要項」をご確認ください。「募集要項」には、今後の手続きの流れや、出願にあたっての同意事項が掲載されていますので、要項をよく読んでうえで、同封の「願書・志望理由書」にご記入、ご提出ください。*

*一次締切は2019年2月28日(木)です。

講座を受講し、漢検で培った漢字の知識をさらに深め、その魅力を広く伝えていきませんか?

漢字クイズ 難読地名(千葉県) 解答編

- ① ひれがさき(鰯ヶ崎)
- ② かぶらぎ(鍋木)
- ③ ひつば(櫃挾)

【今回の一字】 櫃 (1級)

音：キ 訓：ひつ・はこ
意味：ひつ。はこ。ふたつきの箱。

参考：「漢検 漢字辞典[第二版]」・「漢字ペディア」

※「漢字ペディア」は登録商標です。

お知らせ

会員通信への投稿募集中!



会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

1 級に初めて合格しました!

あなた
貴方の合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「貴方」の経験をご投稿ください。

- 投稿内容：①合格時期
②合格までの受検回数
③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと
④合格した時の気持ち、感想
⑤今後の目標

※文字数：項目①～⑤までの合計で500字以内
※対象：平成29年度第2回(10月)～平成30年度第3回(2月)の検定で初めて1級に合格された方

書籍紹介

漢字・言葉に関する書籍で面白いと感じたもの、興味を持ったものをご紹介ください。

- 投稿内容：①書名 ②著者名 ③出版社名 ④発行年
⑤お薦めの理由(250字以内)

漢字クイズ・パズル

会員の方々の知識を活かした、クイズ・パズルのご投稿をお待ちしております。

- 投稿内容：①問題 ②解答(未発表作品に限る)
※例：漢字クロスワードパズル、難読漢字パズル、漢字クイズ等

イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

- 投稿内容：①日時 ②会場 ③内容 ④参加費
⑤公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)

※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる可能性がございます。



アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から3名の方に図書カード(500円分)をお送りいたします。(当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。)

会員向けアンケート回答方法

次回のアンケートテーマ 「私の愛読書について」

皆様のお気に入りの一冊と、その本が好きな理由についてお聞かせください。漢字にまつわる本でなくても構いません。下記のバーコードを読み取るか以下のアドレスを入力し、2019年4月1日(月)までにご回答をお願いいたします。



https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_119/index.do

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールもしくは電話にてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りします。

投稿方法

①～④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の宛先にお送りください。

- ①会員番号
- ②氏名(ペンネームも可)
- ③電話番号
- ④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会**
生涯学習ネットワーク担当
メール：lifelong@ic.kanken.or.jp
FAX：075-532-1110
郵送：〒605-0074
京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日：2019年4月1日(月)

- ※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。
- ※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。
- ※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。
- ※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただくことがあります。ご了承ください。



公益財団法人 **日本漢字能力検定協会** 本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

<https://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)

※検定日とその前日の土・日は窓口を開設

※検定日・申込締切日は9:00～18:00

